



広報

みんなでつくる、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

びらとり

No.739

2024.

11



11月10日 平取消防公設100周年記念式典

平取消防団 分団旗伝達式

令和6年度 全国文化的景観地区連絡協議会 第18回平取大会 開催



基調講演 西山 徳明氏
北海道大学観光学高等研究センター教授

10月24日(木)～25日(金)の2日間、全国文化的景観地区連絡協議会平取大会が開催されました。この協議会は、61の市町村等を主とする加盟団体が、文化的景観の保存に関する各種の課題を共通認識としつつ、相互に情報交換を行い課題解決に取組み、地域の住民と連携し、文化的景観のあるべき姿の構築のための先導的役割を果たすことを目的としています。今年度は平取町が開催地となり、加盟団体および関係者140名が参加しました。

基調講演では、「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」について、西山 徳明 教授は土地の特性に見合った資源の保全や利用を地域に分かるように示すことが必要であると提言されました。



アイヌ文化の環境保全と文化的景観
平取アイヌ文化保存会
会長 長野 環氏



今帰仁村の暮らしと文化継承
沖縄県今帰仁村教育委員会
社会教育課長補佐 玉城 靖氏



小菅の里と柱松柴灯神事にみる文化継承の今日
長野県飯山市 小菅神社
氏子総代 鷲尾 恒久氏

情報提供として、文化庁文化財第二課 市原 富士夫 主任調査官が「文化的景観20年の取組み」について報告しました。

事例発表では、平取アイヌ文化保存会の長野 環氏、沖縄県今帰仁村の玉城 靖氏、長野県飯山市の鷲尾 恒久氏より地域での取組みが報告されました。また、奈良文化財研究所主催の文化的景観ポスターセッションも開催されました。

25日(金)は、好天に恵まれ、現地視察を行いました。視察は2コースに分かれ、平取町の文化継承、暮らしの姿、土地に対する地域住民の認知やその利用等を説明しました。Aコースは二風谷コタンを徒歩でめぐり、様々に行われる文化継承活動や二風谷の土地の価値を説明しました。Bコースは二風谷～芽生方面のアイヌ伝承地やアイヌ標本樹木園をバスでめぐり、アイヌの伝統を正しく伝えていくための取組みを学びました。

2日間を通して、参加者の皆さん、地元関係者の方々が終始笑顔で参加していただけたことが大変印象的でした。運営スタッフにとっても本当に充実感のある大会になりました。

ご参加ご協力をいただいた地域住民の皆さま、大変ありがとうございました。



アイヌ文化学習の取組みを紹介する二風谷小学校 遠山昌志校長とアイヌ語による校歌と童謡を披露した児童 12名



平取アイヌ文化保存会による古式舞踊

平取消防公設100周年

平取消防が、大正13年に私設消防組から公設認可されてから100周年を迎え、11月10日(日)に、消防団員、関係者および来賓のご臨席のもと、中央公民館において記念式典と祝賀会が開催されました。

式典では、公設100周年を機に消防団の崇高な使命と高い士気象徴である消防分団旗が更新され、本間 稔浩 団長から4分団の各分団長へ伝達されたほか、歴代分団長以上の方々に、これまでのご功勞に敬意と感謝の意を表し、感謝状が贈呈されました。

多くの先人達により「自らの地域は自ら守る」という地域防災の要としての意識が受け継がれ、平取消防の礎が築かれました。

近年、大規模多様化する災害が多発している中、町民の生命、身体、財産を守るため、献身的に任務に精励される消防団は欠くことができない組織であり、今後も地域の安心、安全を支えるため、消防行政の発展、充実を図っていきます。



式 辞
平取町長 遠藤 桂一



日高西部消防組合管理者挨拶
日高町長 大鷹 千秋



謝 辞
平取消防団長 本間 稔浩

日高西部消防組合平取消防団／実員 104名 (令和6年11月1日現在)

【本団 11名】 団長 本間 稔浩
副団長 奥村 寛行 女性団員 班長 和田ともよ
渡邊 一博 団員 7名

【平取分団 25名】分団長 橋本 顕 【荷負分団 20名】分団長 萱野 久彦
【貫気別分団 22名】分団長 丸岡 敏弘 【振内分団 26名】分団長 蘆原 宏昭

日高西部消防組合平取消防署／実員 22名

平取消防署 19名、振内分遣所 3名(救急救命士有資格者 11名)

平取消防の歴史(概要)



大正4年2月 平取村に「平取森林防火組合」、「私設消防組」結成
大正13年8月 「公設消防組」として認可(2部制60名)
昭和12年7月 平取村最初の消防ポンプ自動車 購入
昭和22年4月 勅令公布により「平取消防団」に改組(実員300名)
昭和29年11月 町制施行により「平取町消防団」に改称
昭和48年4月 日高西部消防組合 発足(沙流3町/門別・平取・日高)
昭和57年8月 平取消防団第4分団が北海道消防操法訓練大会
ポンプ車の部で優勝(同年10月 全国大会で準優勝)
昭和62年3月 消防署平取支署 救急業務開始
平成元年9月 振内婦人防火クラブ 全国婦人消防操法大会 入賞
平成7年2月 日本消防協会表彰「特別表彰 まとい」授与
平成26年7月 平取消防団(選抜)が北海道消防操法訓練大会
ポンプ車の部で優勝(同年11月 全国大会で敢闘賞)
平成28年7月 署制施行により「日高西部消防組合消防署平取支署」を
「日高西部消防組合平取消防署」に改称

令和6年度 平取町表彰式

平取町の振興発展に多大な貢献をされた方々を称える令和6年度平取町表彰式が、11月3日(日)に中央公民館で挙行され、次の方々が「功労表彰」「貢献表彰」「善行表彰」に表彰されました。

功労表彰 産業経済功労賞



中川 光昭氏
(64歳 旭)



糸屋 新一郎氏
(61歳 岩知志)

貢献表彰 産業経済貢献賞
平取町農業委員を4期12年間務められ、産業経済の振興発展に貢献されました。



水谷 忠幸氏
(64歳 本町)



萱野 久彦氏
(59歳 長知内)



垂柳 忠氏
(50歳 荷菜)

貢献表彰 社会福祉貢献賞
交通安全指導員として地域住民の交通安全に務められ、社会福祉の向上に貢献されました。



関本 幸信氏
(81歳 貫気別)
勤続30年



青木 治氏
(62歳 振内町)
勤続20年

消防団員として消火技術の習得と町民の防災意識の普及啓発に努められ、社会福祉の向上に貢献されました。



渡邊 一博氏
(68歳 本町)
勤続40年



川奈野 利也氏
(43歳 二風谷)
勤続20年



山木 正生氏
(55歳 振内町)
勤続20年



向井 学氏
(45歳 長知内)
勤続20年

平成24年4月に旧平取町農業協同組合理事に就任し、旧富川農協との合併を経て令和6年4月までの12年間にわたり理事を務められ、様々な組合の諸問題や経営に尽力されました。
また、地域おこし協力隊農業支援員やアセアン農業研修生の受け入れなど、常に地域農業の道しるべとなる存在であり、平取町農業の発展に大きく貢献されました。

平成19年から現在まで18年間にわたり、国が推進する農業共済制度に精通し、平取町地域の畑作物共済の損害評価員として共済組合運営の一翼を担い、自然災害等による損失補てんを適正に評価し、地域農業者の経営安定に貢献しているほか、平取町地域での農業共済制度の普及等に尽力され、平取町農業の発展に大きく貢献されました。

貢献表彰 教育文化貢献賞



佐々木 周恵氏
(75歳 貫気別)

生涯学習委員として20年間の務められ、教育文化の振興発展に貢献されました。

善行表彰 奨励賞



植木 久敏氏
(76歳 荷菜)

平取町山岳会の創設期より活動され、当時は登山道が整備されていなかったが、部材の歩荷等により幌尻山荘の維持管理や登山道の安全確保に尽力され、日本百名山のなかでも有名な幌尻岳額平コースの礎を築かれました。平成16年からは会長を務め、山岳会の運営、町の観光振興の発展に大きく貢献されました。

平取義経なるこ会 代表 松澤 以久子氏 会員38名



平成7年10月のチーム設立以来、「仲間づくり」「健康づくり」「地域づくり」を掲げ、平取町の地域に根付いた活動を継続され、本年で27回目の出場となった「YOSAKOI Iソーラン祭り」では、地域の活性化に寄与し力あるまちづくりを促進する継続的な取り組みが評価され「北海道知事特別賞・地域貢献賞」を受賞されました。イベント等の諸活動により、平取町が大きくPRされています。



貫気別地区《11/3 作品展 貫気別生活館》



「ふれあいサークル」が今年度で活動終了



昭和58年から「布の絵本」を作り始め、町内の保育所や小学校で多くの子ども達が柔らかな立体感のある絵本にふれ、地域の子どもの読書のスタート、絵本の思い出となっていました。サークル活動は終了しますが、町立図書館（キッズコーナー）で自由に手に取って遊べますのでご利用ください。

平取町の伝統工芸品「二風谷イタ」が地域団体商標に登録されました



「二風谷イタ」 令和6年9月5日 登録



「二風谷アットゥシ」 近日登録予定

◆アイヌ工芸の伝統を守る◆

平取町は、令和2年に「二風谷アイヌクラフトプロジェクト」を立ち上げ、二風谷アイヌの伝統工芸を活かしながらも、日々の暮らしで使っていただける商品を開発するとともに、伝統的な工芸を未来に繋ぐ取り組みを進めてきました。これに先行して平成25年に二風谷アイヌの工芸品を代表する「二風谷イタ」と「二風谷アットゥシ」が、経済産業省の伝統的工芸品に道内で初めて指定されました。

◆二風谷の未来へ向けて◆

アイヌ文化への注目が高まるなか、近年、二風谷のアイヌ伝統工芸品の模倣品が見られるようになりました。正規の「二風谷イタ」「二風谷アットゥシ」には、伝統工芸品であることを証明する「伝統証紙」が貼付されていますが、二風谷のアイヌ工芸品全体の知的財産権を保護するため、伝統的工芸品として指定された「二風谷イタ」「二風谷アットゥシ」の名称を地域団体商標を取得することにしました。二風谷で受け継がれてきたすべてのアイヌ工芸の権利と価値を守り、地元工芸家をはじめ新たな担い手が誇りをもてる伝統文化の産地として発展していくことを目指します。

文化祭作品展・芸能発表会

11月2日(土)～3日(日)、町民の皆さまによる日頃の文化芸術活動の成果が各地区の文化祭で披露されました。

本町地区《11/2・3 作品展・11/4 芸能発表会 中央公民館》



琴アンサンブルきみかけ草
「真っ赤な太陽」ほか

チア☆エンジェルス
whistle

日高雅楽会
豊栄舞（巫女舞）

振内地区《11/2・3 作品展 青少年会館・11/2 芸能発表 町民センター》



ピアノの会 ノエル
ショパン ワルツ第14番



幌尻太鼓同好会
「三宅」



ひまわり会
「ビューティフルサンデー」



かもめ会
「十勝馬唄」



平取町住生活基本計画

「住生活基本計画」を策定しました！
今後、町が行う住宅に関する施策を
まとめた計画です。



3つの目標を設定し、その実現のため、
以下の施策を行います。



I. 計画の目的と方法

◆計画の背景と目的

- ・住生活基本計画は町の住宅政策の根幹となるもので、町としての直面する住生活をめぐる課題を整理し、施策の方向性を提示する計画です。
- ・現在、国では住生活基本法に基づき策定された「住生活基本計画（全国計画）」について、今般の社会情勢の変化を踏まえ令和3年3月に見直しており、北海道においても既に見直しを行っています。
- ・平取町においては、現在計画の策定をしておらず、少子高齢化による人口減少問題が進行し、空家問題が顕在化するとともに、異常気象による災害の激甚化や地震災害に対応する防災意識の高まりなど社会情勢も大きく変化しています。このような町の住生活を取り巻く現状等を把握し、課題を整理したうえで、魅力ある住生活の実現に向け、良質な住宅の供給や良好な居住環境の形成が図られるよう計画の策定を行います。

◆計画の位置づけ

- ・この計画は、上位計画である「第6次平取町総合計画」に則した部門計画の一つであり、人口対策、公共施設等、防災、福祉などの各部門の関連個別計画と整合を図るとともに、国、北海道の「住生活基本計画」とも整合を図ります。

◆計画期間

- ・本計画は10年間（令和6～令和15年度）を計画期間として策定します。なお、社会情勢・経済動向の変化等に対応して、中間年次に見直しを図ります。

II. 住宅事情の特性と課題

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者数はH27をピークに減少、高齢化率は今後も増加し、R27には44%となる見込み。 ・合計特殊出生率は、1.45から1.53で推移し、全道の1.30に比べ高い。 ・R2国調の住宅所有関係別世帯数は、持ち家61.6%、公営借家16.3%、民営借家8.7%、給与住宅11.1%。公営借家率が高い。 ・人口はR2国調4,776人、25年間で約31%の減少。社人研推計では、今後も減少しR22で3,173人。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に安心して暮らし続けることが出来る環境の整備 ・若年世帯、子育て世帯向けの住環境の整備 ・公営住宅等の計画的・効果的な活用 ・市街地のコンパクト化 ・既存住宅の防災・性能向上 ・住宅の省エネルギー対策 ・移住・定住の促進 ・新規就農者住宅、外国人研修生向けなど産業を支える住宅の確保 ・空家対策

III. 住宅施策の目標 / IV. 住宅施策の展開方向

基本目標	展開方向	主な施策
1. 平取に住む誰もが安心して暮らせる住まいづくり	(1) 高齢者・障がい者等の住宅の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅に関する情報提供、相談体制の充実 ●高齢福祉と空家対策の連携による発生予防（戸建高齢者の住み替えによる長期空家化防止） ●既存住宅改修（耐震化、バリアフリー化、脱炭素化等）の支援（戸建て住宅リフォーム奨励金） ●デマンドバスの利便性の向上
	(2) 若年世帯・子育て世帯向けの住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●住み替えによる住宅ストックの活用（ミスマッチの解消）の仕組みづくり ●子育て環境に配慮した公営住宅の整備 ●住宅セーフティネット制度登録に向けた情報提供 ●地域優良賃貸住宅制度の推進 ●民営借家建設促進のための既存制度の見直し ●耐用年数を経過した公営住宅の住棟の有効活用
	(3) 公営住宅の整備改善	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化した公営住宅の計画的な除却の推進 ●適正な改善・修繕による公営住宅の長寿命化の推進 ●公営住宅建設における民間活用導入の可能性研究 ●特定公共賃貸住宅の確保 ●教職員住宅の有効活用 ●教職員住宅について民間賃貸住宅の活用
2. コンパクトで持続可能な住環境の形成	(1) 市街地のコンパクト化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●安全性を考慮した市街地のコンパクト化の推進 ●公営住宅入居者ニーズを踏まえた住み替えの促進 ●本町市街地の大規模公営住宅団地の集約化による余剰地活用
	(2) 災害に対応した住宅・住環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅の耐震化の促進 ●防災教育の充実、適切な情報提供システムの整備、災害時の行動訓練の実施等の防災対策の推進
	(3) 住宅の脱炭素化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●脱炭素改修工事に対する支援 ●北方型住宅などによる良質な住宅の普及促進
3. まちの活気を創出する住まいづくり	(1) 移住・定住施策の促進のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ●平取町への移住促進や情報提供の充実 ●中古戸建住宅の賃貸化の促進 ●DIY賃貸の推進
	(2) まちの産業の活性化を支える居住環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●公営住宅の地域対応活用 ●半公的な平取町住宅ワンストップ体制の構築 ●商店街連動型移住促進事業（起業支援事業と連動した移住促進）の実施
	(3) 空家等の適正管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●「空家バンク」による住宅情報の充実 ●町ホームページの町内民間アパート物件情報の充実 ●空家等対策計画の策定と計画に基づく空家の適正管理 ●空家予備軍への意識啓発の促進 ●空家の解体・改修に対する支援

地域みなさんに知ってほしい
地域みらい留学のこと



シトづくり



チセづくり



平取高校見学



トマトクラブ
と調理実習



木彫り体験



トマト収穫体験

おためし地域留学 in 平取町を開催しました！

10月12日～14日の3日間、道外から10名の中学生が来町し、平取高校のトマトクラブと調理実習を行ったり、木彫り体験やトマトの収穫体験など平取町ならではの体験をしていただきました。

参加した中学生からは、「町の人が優しい」「自然が豊かでのどか」「空がたかい」などの感想をいただきました。ご協力いただいた地域の皆様ありがとうございました！ぜひ動画をご覧ください♪

おためし地域留学
動画QRコード



各SNSでも地域みらい留学生の日常生活や学校生活の様子を発信しています！
ぜひフォローお願いします♪
(高校魅力化コーディネーター 森山)



← Instagram
Facebook →



10/17 秋の全国地域安全運動



10月11日(金)～20日(日)までの間、全国地域安全運動が実施され、パチラー保育園の園児が、平取町国保病院の正面玄関前で、特殊詐欺防止を呼びかける啓発運動を実施しました。園児から「気をつけてね」と声をかけられた方々は「ありがとう」と笑顔でうなづいていました。



10/26 びらとりふれあい子ども食堂「芋ほり・りんご収穫体験」



びらとりふれあい子ども食堂(代表 三塚みよ子氏)が10月26日(土)に荷菜地区で開催されました。

収穫体験は、畑を提供していただいた三塚氏、三浦ファームで実施され、子ども達はさつま芋ほりやりんごの収穫を笑顔で楽しんでいました。

お昼には、カレーライスと牛丼(「くろべこ」様よりびらとり和牛が寄贈されました)が振舞われ、子ども達は交流しながら、ご飯を口いっぱい頬張り、最後まで元気に収穫の秋を楽しみました。

◆日高山脈襟裳十勝国立公園記念切手 贈呈◆



国内で35か所目となる日高山脈襟裳十勝国立公園の誕生を記念してフレーム切手が発売され、平取郵便局 山田 敏明 局長から贈呈されました。

日高と十勝の2種類があり、あわせると壮大な日高山脈のパノラマ写真となります。

◆地域貢献活動に感謝します◆



株式会社平村建設(代表取締役 平村 徹郎氏)より、イオル再生事業水辺空間内の除草作業をしていただきました。



株式会社磯田組(代表取締役 磯田 洋一氏)より、本町親水公園広場の環境整備(支障木処理)、食の祭典 びらとり和牛・トマトまつりで交通誘導業務をしていただきました。

大きく成長した姿を披露 ～小学校学習発表会～

10月第2週から最終週にかけて、令和6年度各小学校の学習発表会が開催されました。今年度は、コロナ禍の影響もなく、たくさんの保護者や地域の方々の前で、子ども達の成長した姿が披露されました。

運動会で向上した集団力にさらに磨きがかかり、一人ひとりの個性が輝く発表会となりました。今年度の各学校の大きな行事はこれで終了しましたが、各校の教育目標を達成するために、それぞれの取組みで身に付けた力を伸ばし、今後の教育活動を実践していくことになります。

《二風谷小学校 10/20》

1年生 劇
きつねのおきゃくさま
(左)



5・6年生 劇
はだしのゲン (右)



《紫雲古津小学校 10/26》

2年生 劇
百姓親子とロバ
(左)



全校器楽演奏
怪獣の花唄 (右)



教育委員会からのお知らせ

《平取小学校 10/12》

1年生
はじめのあいさつ
(左)



6年生 集合写真
(右)



《振内小学校 10/19》

全校音楽
世界中の子ども達が
(左)



6年生 劇 朝顔
(右)



《貫気別小学校 10/19》

1・2年生
はじめのあいさつ
(左)



全校合唱
明日へつなぐもの
(右)



平取町コミュニティ・スクールレター 地域と学校、びらとりのみらい



平取町教育委員会生涯学習課
イメージキャラクター まなティ

平取中学校 地域を支える担い手に (認知症サポーター・介護体験授業)



8月22日(木)、29日(木)に、町保健福祉課とキャラバン・メイトの方々をお招きし、2年生と3年生が認知症サポーター・介護体験授業を行いました。

認知症についてスライドを見ながら講義を受け、認知症のお年寄りにどのような接し方をすれば良いかを生徒自身が考えました。その後、段ボールベッドや車いすを使った介護体験、視界が悪くなるゴーグルや重り、装具などを着けて高齢者擬似体験を行い、高齢者についての知識や理解を深めました。

高齢者の割合が増え続ける社会の中で、日常的に高齢者と接する機会が増える可能性が高くなり、これからの地域を支える若者の一人として必要な経験をさせていただく機会となりました。

今後も地域とのかかわりを深め、地域とともに子どもたち一人ひとりの成長を支えていく学校を目指します。

二風谷小学校 アイヌの生活体験『山菜とり』



今年度の二風谷小学校アイヌ文化学習のテーマは「アイヌの生活体験」です。

1回目は「アイヌの方が山菜を大切にしていたことを知り、実際に歩いて山菜を採取して苦労や工夫を体験する」というねらいのもと、地元の方々といっしょに山菜取りに行きました。

トリカブト(スルク)のように毒のある山菜に気をつけながら、見つけやすいニリンソウ(オハウキナ)を中心に探し、「あったー!」「見つけたー!」と子ども達の喜ぶ声があちらこちらから聞こえてきました。

また、子ども達は、枝で杖を作ってもらったり、長い枝をターザンロープのようにしてもらったりなど楽しい体験もしました。

この日に採取した山菜は、11月8日にチエプオハウ(鮭のアラ汁)に入れて食べました。

図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00
○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館

図書館カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

【一般書（小説・エッセイ）】

『恋とか愛とかやさしさなら』／一穂ミチ
『無形』／井戸川射子
『五葉のまつり』／今村翔吾
『百年かぞえ歌』／大崎梢
『夜刑事』／大沢在昌
『小鳥とリムジン』／小川糸
『不機嫌な青春』／壁井ユカコ
『遊廓島心中譚』／霜月流
『架空犯』／東野圭吾
『富士山』／平野啓一郎
『気の毒ばたらき』／宮部みゆき
『おとこ川をんな川』／唯川恵
『誘拐ジャパン』／横関大
『たべるノヲト。』／松重豊

【一般書（その他）】

『楽しく学べるはにわ図鑑』／かみゆ歴史編集部
『コアラのあずまちゃん』／多摩動物公園協力
『整形外科医のカラダの痛み相談室』／井尻慎一郎
『ちいかわハンドメイドBOOK』／主婦と生活社
『ごくごく飲みほすだしの本』／吉田麻子
『絵本作家のしごと』／ミロコマチコほか
『足が速くなる解剖図鑑』／高林孝光

【児童書】

『読書バリアフリー2』／白坂洋一
『世界の納豆をめぐる探検』／高野秀行
『すみっこぐらしはじめてのパンレシピ』／池田愛実
『へんてこもりのころがりざか』／たかどのほうこ
『銀樹』／森埜こみち
『ダンス★フレンド』／カミラ・チェスター

【絵本】

『ぬすまれたねむねむ』／アネテ・メレツェ
『ねぞうプロレス 炎のおとまりバトル』／ひらぎみつえ
『ノラネコぐんだんピザをやく』／工藤ノリコ
『はじめまして、サンタさん』／ジャーヴィス
『ハリネズミのチクチク』／ふくざわゆみこ
『ゆきのもりのおくりもの』／リンデ・ファース

クリスマス絵本展

図書館にあるクリスマスやサンタクロースの絵本を展示します。展示している絵本は全て貸出できます。子どもの頃に読んだ絵本など、懐かしいものもあるかもしれません。ぜひお立ち寄りください。



■期間：11月26日～12月25日
■場所：図書館カウンター前

借りたままの本は

ありませんか？



年末に大掃除をしていて「図書館の本が出てきた」という方が、毎年何人か返却しに来てくれます。

資料に汚れや破損がなければ、返却期限が過ぎていても特にペナルティはありませんので、まずは返却しに来てください。

図書館の資料は町民の皆様の共有財産です。返却期限は守りましょう。※汚れ・破損がひどい場合は弁償していただく場合があります。必ず図書館に連絡してください。

【お問い合わせ】平取町立図書館

☎ 電話 01457-4-6666
☎ FAX 01457-4-6871
☎ メール risu2@guitar.ocn.ne.jp
■Web ■携帯



★★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★★★

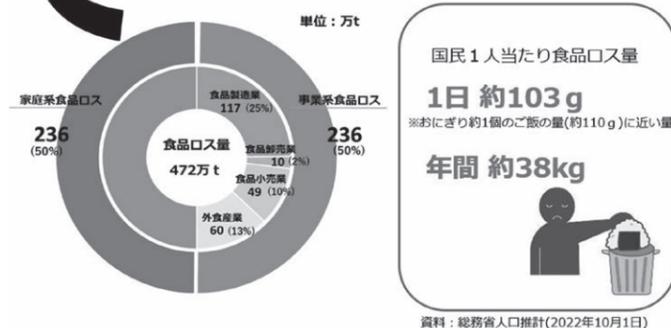
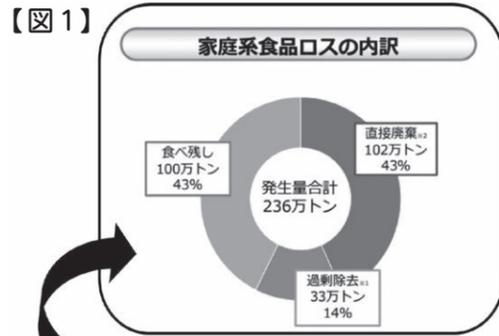
■次回 12月5日（木）

【振内地区】 10:00～12:00 山の駅ほろしり館
【貫気別地区】 14:00～16:00 貫気別生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。
■毎月第一木曜日に運行します。
■貫気別支所・振内支所（青少年会館）で返却できます。



【図1】



国民1人当たり食品ロス量
1日約103g
※約にぎり約1個のご飯の量(約110g)に近い量
年間約38kg

資料：総務省人口推計(2022年10月1日)

「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられている食品のことをいい、毎年10月は「食品ロスの削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」とされています。農林水産省・環境省より、日本の食品ロス量について「令和4年度推計」が出され、日本の食品ロスは全体で472万トン。内訳は図1のとおり事業系から50%、家庭系から50%という結果でした。10年前と比較し170万トン減少し、国民一人あたりの年間食品ロス量で示すと、50kgから38kgと12kgの削減になっています。

国では令和12年までに食品ロスを事業系で273万トン、家庭系で21万トン削減することを目標にそれぞれ様々な取り組みを進め、全体の数値としては目標を達成しました。しかし、コロナウイルス感染症の影響を受けている年度であることから、今後注視していく必要があります。引き続き、削減に向けた取り組みを継続していく必要があるとまっています。

食品ロス・・・半分が家庭から

平取町では、令和3年度に健康受診者327名を対象に、食品ロスに関するアンケートを実施しました。食品ロスについての認知度は、同年度の国の80.3%よりも高値の87.3%と食品ロス削減に関心が高い結果でした。また、計画の目標である何らかの行動をしている方は、同年度の国の78.3%に対して70.1%でした。知っている方は多くいますが、具体的な行動まではあと一歩という結果でした。具体的な取組みの内容については、最も多い内容は図2のとおりです。平取町では、冷凍保存の活用が一番多く、4位には「食べられる量だけ購入する」という回答が3位と僅差で多くありました。古くから受け継がれている日本の「もったいない」精神をしっかりと受け継いでいる結果ではないでしょうか。

【図2】食品ロスを削減するための取組について

	1位	2位	3位
国	残さず食べる	「賞味期限」を過ぎてもすぐ捨てるのではなく自分で食べられるか判断する	冷凍保存を活用する
平取町	冷凍保存を活用する	「賞味期限」を過ぎてもすぐ捨てるのではなく自分で食べられるか判断する	残さず食べる

残さず食べよう
～家庭からの食品ロス削減～



今月のワンショット



平取高校「トマトクラブ」新レシピ試食会

地元特産品開発事業に取り組む平取高校「トマトクラブ」が、トマトや平取米をアレンジした新レシピ5品を紹介しました。発案した生徒からは、材料や作り方に工夫したポイントなどが説明され、自慢の一品をPRしました。

まちの人口と世帯数

	(前月比)	
人口	4,456人	(△27人)
男	2,201人	(△14人)
女	2,255人	(△13人)
世帯数	2,396世帯	(△23世帯)

※令和6年10月末現在の住民基本台帳による

櫓の実俳句会

柿の実を残す田舎の原風景
 故郷の裏山の柿仏壇に
 鬼皮を剥く媪九十冬日向
 狭庭に咲きて乱れる野菊かな
 初物の秋刀魚はスリム値は高き
 かの山は遠く近くも山粧う
 栗好きの父に供える栗おこわ
 肌寒し季節変わり目乗り越之中
 ユトリロの白へ色無き風潜む
 久し雨待っていたよと大根畑
 膝まづき弾む心よ茸狩り

内海 綾子
 遠藤 紫光
 加藤えい子
 川上八重子
 熊谷 厚子
 千葉 俊子
 長野 新一
 野口勢津子
 古久保李莉
 道政サツ子
 渡辺 正子

役場関係 電話番号

- 平取町役場 総務課(代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 観光商工課 ☎ 3-7703
- 産業課 ☎ 2-2223
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111
- 町民課 ☎ 4-6113
- 保健福祉課 保健推進係・子育て支援係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎ 2-3700
- 平取町教育委員会 生涯学習課 ☎ 2-2619
- 中央公民館 ☎ 2-2619
- 町民体育館 ☎ 2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
- 沙流川歴史館 ☎ 2-4085
- 図書館 ☎ 4-6666
- 役場振内支所 ☎ 3-3211
- 役場貫気別支所 ☎ 5-5204
- 平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
- 平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
- 平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024
- 平取消防署 ☎ 2-2361



ホームページ
QRコード